

将来イメージを探る

大淀川の将来イメージ	豊かな緑と山並みの栄える大淀川	大淀川の広さと緑	大淀川に緑と人々の絆	堤防を並木道に	きれいな川、山、緑、夕日が見える大淀川
緑豊かな大淀川	17	0	2	6	9
いこい・いやしの大淀川	0	7	6	0	2
広がりある大淀川	1	1	0	1	0
なつかしさ	2	2	0	4	9
ほか	5	4			

前回、大淀川全体を考えた将来イメージを各人に出していただきました。それをまとめたものを、会場入口に掲示し、受付後すぐに、どのキャッチフレーズがよいかをシールにて投票しました。

その結果が左の表です。

大項目の『緑豊かな大淀川』と『いこい・いやしの大淀川』に点数が集まりました。

豊かな緑と山並みが映える
いやしの大淀川

を、みなさんはイメージされているようですね。



総評 (スーパーバイザーの宮崎大学 出口近士准教授より)

- ・都市に隣接し、このような自然が残っている川はめずらしい。
- ・空や川とケンカしない色・建物としていきましょう。
- ・良いところを残し活かしていくには、長い目（後世）で見ると今、荒療治が必要なときかもしれません。
- ・これをもとに行政は制度化を目指します。今後の行政の流れに参画していきましょう。



ワークショップの総まとめの会を開催予定！『景観まちづくりフォーラム』

<予定> 3月19日(水) 15:00~17:00

これまで全4回のデザインづくりワークショップの総まとめとして、景観まちづくりフォーラムを開催します。本ワークショップの報告や参加者によるパネルディスカッション等を予定しています。是非ご参加ください。詳細な日時や場所などについては、後日ご連絡します。

〈お問い合わせ〉 宮崎市役所 都市景観課 担当：南井上
TEL 21-1817 FAX 26-3520
E-mail 30keikan@city.miyazaki.miyazaki.jp

発行：平成19年12月 宮崎市都市景観課

宮崎市景観モデル地区

デザインづくりワークショップだより

4号

平成19年11月27日(火) 18:30より宮崎市保健所にて第4回ワークショップを開催しました。これまで積み重ねてきた議論より、景観特性の違いからいくつかのゾーンと、項目毎(「建物の高さ」「建物の色」「緑」「屋外広告物」)の景観づくりの方向性が浮かび上がってきました。これらをもとに、最終回である今回はゾーン毎に各項目の詳細な検討を行いました。

大淀川景観の将来の姿をイメージしながら、各項目がどのようにあるべきか、を3つのグループに分かれてじっくりと真剣に議論しました。



ワークショップの流れ

第1回 8月22日(水) 18:30~ 済

『大淀川の大事な景観を選ぼう』

- 宮崎市・大淀川の景観づくりについて 情報提供
- 大事にしたい景観や気になる景観の抽出

第2回 9月29日(土) 9:00~ 済

『川辺を歩いて確かめよう』

- 現地確認
- 問題点、特性・課題の検討

第3回 10月25日(木) 18:30~ 済

『将来像を考えよう』

- 将来像の検討
- 方針の検討

第4回 11月27日(火) 18:30~

『実現に向けて話そう』

- 将来像実現に必要な事項の検討

プログラム

- | | |
|-------|-----------------|
| 18:30 | 1. 開会・あいさつ |
| | 2. 本日のプログラム説明 |
| 18:45 | 3. 前回の振り返り |
| 19:00 | 4. グループ分け・関係づくり |
| 19:15 | 5. 将来イメージの確認 |
| 20:10 | 6. 発表 |
| 20:40 | 7. キャッチフレーズの検討 |
| 20:50 | 8. 総評 |
| 21:00 | 9. 閉会 |



大淀川の景観で“意識すること”

第1～3回の議論を受け、大淀川の景観で意識していること、景観特性が浮かび上がりました。それをもとに大淀川周辺地区をゾーンに分けました。

	対象地域	意識すること
ゾーンA	橘橋を中心とし高層の建物が建ち並ぶ地域	市街地との関係を意識する
ゾーンB	宮崎観光ホテルを中心とする橘公園通り付近	宮崎観光ホテルを中心にこれまでの歴史を意識
ゾーンC	大淀大橋付近より下流	海・空・川の広がりを意識
ゾーンD	橘橋-天満橋の中程から上流	周辺の緑地や遠景の山並みを意識

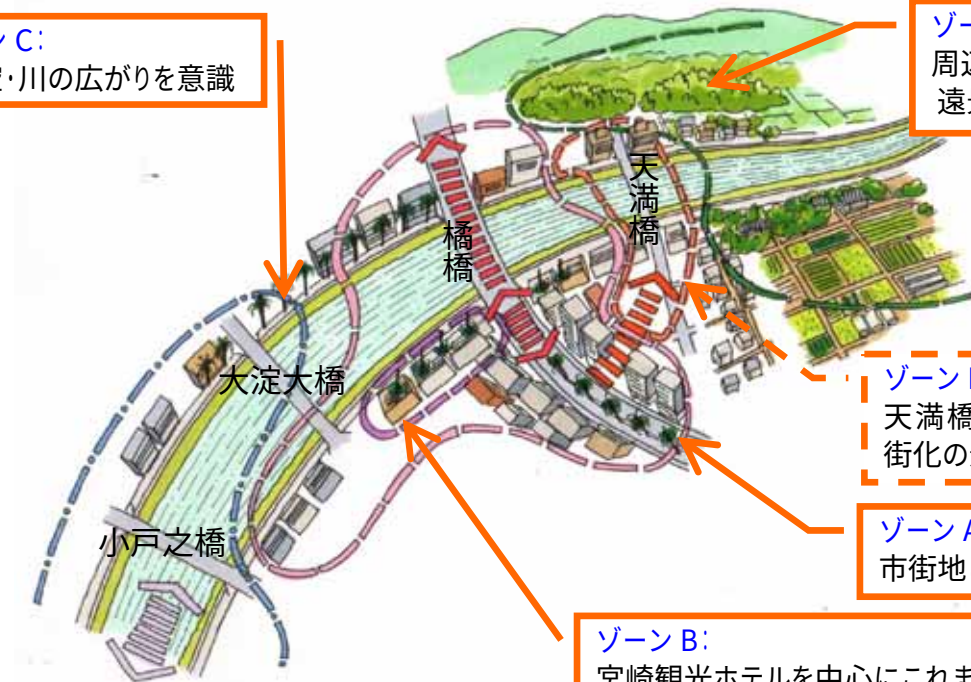
将来イメージの確認

ゾーン毎に各項目（「建物の高さ」「建物の色」「緑」「屋外広告物」）の景観づくりの方向性を具体的に検討しました。ゾーンの持つ景観特性によって、方向性が違うようです。



ゾーンC：
海・空・川の広がりを意識

ゾーンD：
周辺の緑地や
遠景の山並みを意識

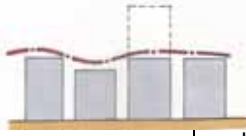


ゾーンD：
天満橋の開通による市
街化の影響に注意する

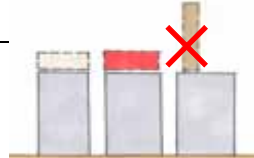
ゾーンA：
市街地との関係を意識

ゾーンB：
宮崎観光ホテルを中心にこれまでの歴史を意識

ゾーンA：市街地との関係を意識するゾーン

項目	第1～3回ワークショップからの方針	詳細にイメージすると…
建物の高さ	- 市街地との関係を大切にし、ある程度の高さを許容する。 - 高さをそろえる。 	- 高さがそろいすぎてもおかしい。 - 高すぎても、低すぎてもダメ。 - 周辺から突出しなければよい。
建物の色	周辺の緑や川、空の色から浮き上がらない色とする。	- 推奨値により周辺との調和を図る。 - 低層部と中層部と高層部とで推奨値をわけることも考えられる。
緑	- ワシントンヤシの並木。 - 民地はできる限り緑化する。	- 民地に高木を植栽。高すぎると逆効果。 - ベランダ緑化も進める。
屋外広告物	川沿いには掲出しない。	- 川沿いへの掲出は控える。（掲出するならば建物形態と一体的に。） - アイレベルの掲出は良い。

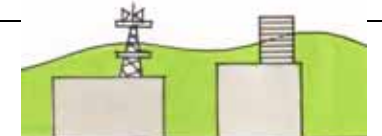
ゾーンB：宮崎観光ホテルを中心にこれまでの歴史を意識するゾーン

項目	第1～3回ワークショップからの方針	詳細にイメージすると…
建物の高さ	- 市街地との関係を大切にし、ある程度の高層を許容する。 - 高さをそろえる。	- 周辺から突出しなければよい。 - 高さがそろいすぎると不自然。
建物の色	宮崎観光ホテルの色に合わせる。	- 推奨値により周辺との調和を図る。 - グリーン系～ブルー系が良い。 - すべて同じ色はおかしい。
緑	- ワシントンヤシの並木。 - 民地はできる限り緑化する。 - 堤防をツタ等で緑化する。	- 空地・緑地を確保する。 - ツタは有効か。
屋外広告物	川沿いには掲出しない。 	- 川沿いにはできる限り掲出しない。 - 壁面等への小さい切り文字は良い。 

ゾーンC：海・空・川の広がりを意識するゾーン

項目	第1～3回ワークショップからの方針	詳細にイメージすると…
建物の高さ	- 海・空・川の広がりを大切にした高さ（屋上広告物、塔屋等を含む）とする。 - 高さをそろえる。	- 高層の建物はダメ。 - 山並みが見えるような高さ。（人が通る視線を考える）
建物の色	周辺の緑や川、空の色から浮き上がらない色とする。	推奨値により、周辺や自然との調和を図る。
緑	- ワシントンヤシの並木。 - 民地はできる限り緑化する。 	- 現存する緑を残す。 - ワシントンヤシでなくてもよい。（桜など）
屋外広告物	川沿いには掲出しない。	広がり確保のために、屋上広告は掲出しない。

ゾーンD：周辺の緑地や山並みを意識するゾーン

項目	第1～3回ワークショップからの方針	詳細にイメージすると…
建物の高さ	- 周辺の緑地や遠景の山並みの稜線を切らない高さ（屋上広告物、塔屋等を含む）とする。 - 高さをそろえる。	- 稜線を切らない高さ。 - 理想は、背景の緑地が見えるような高さ。
建物の色	周辺の緑や川、空の色から浮き上がらない色とする。 	背景のみどりと調和する色。
緑	- 桜並木。 - 民地はできる限り緑化する。	民地緑化の協力を願う。
屋外広告物	川沿いには掲出しない。	- 川沿いへの掲出は控える。 - 屋上広告物は掲出しない。 - 壁面広告物は小さく切り文字は良い。